

2020年8月3日
日本船主協会 海事人材部

東京海洋大学 海洋工学部オープンキャンパスに協力

日本船主協会では、2008年7月に人材確保タスクフォースを結成し、優秀な日本人船員確保のための広報活動を展開しております。

2020年7月19日(日)に、東京海洋大学海洋工学部のオープンキャンパスがオンデマンド形式で開催され、当協会は広報活動の一環として協力しました。

当協会は、同学部卒業生が多く進んでいる海事クラスターの業界団体として「キャリアコンパス～将来の仕事を見よう～」に例年協力しております。今年度は、オンデマンド形式で当該オープンキャンパスが開催され、当協会は講演動画の提供および参加者への質問対応をオンラインで行いました。

オープンキャンパス参加者対象に、一定期間視聴可能となっている講演(動画)では、一般社団法人日本船長協会より中川 悟 船長が、「将来の仕事を見よう～船を見よう～」というタイトルでお話しました。

また、19日(日)のライブ相談会は、3つのセッションに分けられ、中川船長および当協会の田中常務理事が、参加者32名の質問に答えました。参加者からは、「航海士の仕事内容」、「船員不足に対する取り組み」、「陸上勤務時の職務内容」、「必要な英語力」、「新型コロナウイルスがどのように採用に影響するか」など、様々な質問があがりました。今回参加した中には、船員を志望しているという学生も多いようでした。

当協会の人材確保タスクフォースでは、今後も優秀な日本人海技者確保に向け、関連機関と協力して幅広い活動を継続していくこととしています。



講演を行う中川船長



オンラインで参加者の質問に対応する
中川船長